



活動報告

30% Club Japan 『第8回 TOPIX 社長会』を開催 ～「多様性の力を活かす組織カルチャー変革」をテーマに議論を展開～

日本企業の役員に占める女性割合向上を目指して活動する30% Club Japan (Chair:資生堂 魚谷雅彦) は2023年5月16日、取り組みの一環としてTOPIX 100、TOPIX Mid 400等のメンバー(*1)から成るコミュニティ、『TOPIX 社長会(以下、社長会)』の第8回目トップ会議を開催しました。当日は22名(*2)のメンバーが参加し、2030年をめどに、TOPIX100の取締役会に占める女性割合30%達成をめざし、日本企業におけるダイバーシティ推進に関して活発な議論を行いました。

過去のトップ会議では、女性のパイプライン強化に向け、女性登用の加速のための各社の取り組み事例を共有してきましたが、今回は「多様性の力を活かすカルチャー変革」をテーマとし、株式会社リコー 代表取締役会長 山下 良則 氏、東京海上ホールディングス 取締役社長 グループCEO 小宮 暁 氏からの各々の事例発表をもとに議論を行いました。

■TOPIX社長会 Chair 魚谷雅彦 オープニングスピーチ

30%の目標を掲げる本質的な目的は会社に新たな価値を生み、成長につなげること。日本企業の同質性の高い組織に異質性を投入し、女性を含む多様な人財を活躍に導くためには、受け入れ側の環境変革がカギとなる。社長会での議論を各社での取り組みに活かし、VUCA時代を生き抜くイノベーションを創出する「多様性の力を活かす組織カルチャー変革」に向けた取り組みを促進したい。

主な議論内容は以下の通りです。

■組織カルチャーの変革においては、パーパスの浸透が重要。トップが強いメッセージを継続的に発信し続けることで、組織全体にパーパスの浸透を図る。これからは社会価値の創造が企業価値を図る物差しとなる。自分の仕事により良い社会づくりに直結していることを実感できることで、社員は働きがいを感じ、社内の活性化にもつながる。

■社員が会社のパーパスや経営戦略を理解することと同時に、会社も社員のことを知る必要がある。個々の働く意義がどこにあるか、どういう人になりたいのか、加えて、在宅勤務の拡大により実際に評価が上がっている社員がいるように、どのような働き方をすれば、自身の生産性が上がるのかを個々が自律的に考え、それを会社が把握し、バックアップするための仕組みやコミュニケーションが必要。

■グローバル視点でD&I課題を可視化し、各地域や事業のトップ、社員の代表が参加するカウンスルなどの場を設け、改善の具体策に社員も一体となって取り組むことも有効。特にD&Iについて劣後している日本にとって、海外から学ぶ点は多く、日本地域の社員の気づきとD&I加速への影響が期待できる。

■多様性の力を活かすためには、より創造的な業務を担う時間を確保すること。機械化できる業務は、RPA導入など自動化を進め、余裕ができた時間をプロジェクトや副業などに振り向けるなど、社員が創造性を発揮できる仕組みづくりが有効。

■トップが社員に向けてコミュニケーションし続けること、また、変化を受け入れられない社員に対しては、例えば対話などを通じて、変化の激しい社会で活躍し続けるための意識変革を率直に求めていくことも必要。

■女性が圧倒的にマイノリティである環境では、無意識のバイアスによるハラスメントが起こりやすい。同質性のなかで培われた無意識のバイアスがマイノリティにとってネガティブな影響をもたらす危険性があることに加え、誰もがそのバイアスを持っていることを認識する必要がある。加えて、その無意識のバイアスが女性登用に歯止めをかけていることがある。既成概念を取り払ってチャレンジしていくことが一人一人の成長につながり、企業の成長につながる。

■ジェネレーションギャップにも関心を高める必要がある。25歳と65歳と一緒に働く組織のなかで、例えばシニアにカタリストやサポーター的な役割を付与するなど、新たな業務やプロジェクトにシニア層が参加しやすい仕組みを取り入れ、世代間の違いをプラスに変える仕掛けも有効。

■グローバルでは地域ごとに課題の優先度に違いはあるものの、国内外ともに、ジェンダーギャップは共通課題でもある。ジェンダーギャップ指数で特に政治分野と経済分野が低位の日本にとって、ジェンダーギャップ解消は引き続き優先度の高い課題。

最後に、社長会での議論を踏まえ、プロジェクトマネジメント(PM)チーム⁽³⁾と具体的アクションを推進することを確認し、第8回 社長会が締めくくられました。

30% Club Japan『TOPIX 社長会』は、今後も日本企業における女性活躍を阻む本質的課題解決につながるアクションを推進し、女性の経営参画のスピードアップを図ります。次回は2023年11月に開催予定です。

(*1) 30% Club Japan は社長、会長、ボード議長、または同等のポジションの方のみがメンバーになることが可能です。

(*2) 第8回 30% Club Japan『TOPIX 社長会』の参加メンバー(企業名五十音順)

- アサヒグループホールディングス株式会社 取締役会長兼取締役会議長 小路 明善
- ANA ホールディングス株式会社 代表取締役社長 芝田 浩二
- MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社 取締役会長 柄澤 康喜
- 株式会社資生堂 代表取締役会長 CEO 魚谷 雅彦
- 清水建設株式会社 代表取締役会長 宮本 洋一
- 清水建設株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 井上 和幸
- 第一生命ホールディングス株式会社 代表取締役社長 菊田 徹也
- 株式会社テレビ朝日 代表取締役社長 篠塚 浩
- 東京海上ホールディングス株式会社 取締役社長グループ CEO 小宮 暁
- 日本電気株式会社 取締役会長 新野 隆
- 日本電信電話株式会社 代表取締役社長 島田 明
- 日本郵船株式会社 代表取締役社長・社長執行役員 曾我 貴也
- 野村ホールディングス株式会社 代表執行役社長 グループ CEO 奥田 健太郎
- 富士通株式会社 代表取締役社長 CEO 時田 隆仁
- 株式会社ポーラ 代表取締役社長 及川 美紀
- 株式会社みずほフィナンシャルグループ 取締役 兼 執行役社長(代表執行役)グループ CEO 木原 正裕
- 株式会社三井住友フィナンシャルグループ 取締役 執行役社長(代表執行役)グループ CEO 太田 純
- 株式会社山口フィナンシャルグループ 代表取締役社長 CEO 椋梨 敬介
- ライオン株式会社 代表取締役会長 掬川 正純
- 株式会社リコー 代表取締役会長 山下 良則
- 株式会社りそなホールディングス 取締役兼代表執行役社長兼グループ CEO 南 昌宏
- 株式会社ローソン 代表取締役社長 竹増 貞信

※開催当時の肩書を記載しています。

(3) TOPIX 社長会のプロジェクトメンバーチームのこと。参加企業の実務推進責任者(担当役員・責任者)で構成され、各社の社長会での提案や運営など実務を担当しています。

【第8回 TOPIX 社長会 集合写真】



【議論の様子】



【30% Club Japan概要】

- ・名称: 30% Club Japan (サーティパーセントクラブジャパン)
- ・発足日: 2019年5月1日
- ・目標: TOPIX100の取締役会に占める女性割合:2030年をめどに 30%
- ・メンバー: 上場企業等の社長・CEOらトップマネジメント78名 (2023年5月16日時点)
- ・URL: <https://30percentclub.org/chapters/japan-2/>
- ・Twitter: [@30percentclubJ1](https://twitter.com/30percentclubJ1)

・運営体制(2023年5月16日時点)

Steering Committee Chair:

魚谷 雅彦(株式会社資生堂 代表取締役会長 CEO)

Steering Committee Vice Chair :

永山 晴子(デロイトトーマツ グループ ボード議長)

Steering Committee Members:

小路 明善(アサヒグループホールディングス株式会社 取締役会長 兼 取締役会議長)

鈴木 ゆかり(株式会社資生堂 取締役 常務)

藤井 輝夫(東京大学 総長)

菱田 賀夫(三井住友トラスト・アセットマネジメント 代表取締役社長)

日比野 隆司(株式会社大和証券グループ本社 取締役会長 兼 執行役)

Advisory Board Members:

塚原 月子(株式会社 カレイディスト 代表取締役社長)

治部 れんげ(東京工業大学准教授)

土屋 大輔(ブランドウィック・グループ株式会社 パートナー 日本事業統括)

Working Groups:

TOPIX社長会 (Chair: 魚谷 雅彦)

インベスター・グループ (Chair: 菱田 賀夫)

大学グループ (Chair: 藤井 輝夫)

<報道関係からのお問い合わせ先>

30% Club Japan 広報 e-mail: info30percentclubjp@shiseido.com

以 上